

英米語学科モデルカリキュラム

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1 時限 9:00-10:30	■ 米国研究入門 I			● English for Academic Purposes I		
2 時限 10:40-12:10	● Freshman English I	■ 英語学概論	● Foundational Literacies: Reading & Writing I	● Freshman English I	● Freshman English I	
3 時限 13:10-14:40	▲ 韓国語 I (a)	● English for Academic Purposes I	■ 社会学 I	▲ 韓国語 I (a)	■ 英語学概論	
4 時限 14:50-16:20		● Freshman English I		● Foundational Literacies: Reading & Writing I		
5 時限 16:30-18:00						
オンデマンド：◆基礎演習 I						

必修・選択必修 ●=英語科目 ▲=選択外国語科目 ■=研究科目 ◆=基盤教育科目

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1 時限 9:00-10:30						
2 時限 10:40-12:10	● English for Liberal Arts	● English for Liberal Arts			■ 英米法と社会 I	
3 時限 13:10-14:40		○ 韓国語Ⅲ (a)		● English for Liberal Arts	● 英語専門講読	
4 時限 14:50-16:20	■ Survey of American and English Literature I	○ 研究演習	■ ダイバーシティ研究 I	■ History of the United States I	● English for Liberal Arts	
5 時限 16:30-18:00						

必修・選択必修 ●=英語科目 ■=研究科目 ○=演習科目

▶1年次(前期)

英米語学科の語学教育の特徴は、まず必修英語科目の多さにあります。例えば1年次には週6回の「英語総合講座I (Freshman English, Foundational Literacies)」に加え、ホームルームの役割を果たす「English for Academic Purposes」があり、90分の英語科目(必修)の授業が週8回、2年次にも「英語総合講座Ⅱ」が週6回必修となります。「英語総合講座Ⅰ」は外国人教員が担当※し、授業はすべて英語で展開されます。グループワークやディスカッション、プレゼンテーションといったさまざまな言語活動を取り入れながら、「聞く、話す、読む、書く」の4技能を総合的に養います。なお、選択外国語科目が必修となっており、卒業するまでに1言語(週2回)を1年間学ぶことが卒業要件となります。

※一部のクラスは、部分的に日本人教員が担当

▶3年次(前期)

3・4年次の英語必修科目である「English for Liberal Arts」は、英語圏の歴史、社会、文化などさまざまなテーマを、英語で学び、高度な英語運用能力と教養の両方を身につける授業です。「English for Liberal Arts」と「英語専門講読」を履修するためには、2年次末までに一定の英語運用能力基準(TOEFL®テストのC~B基準)が必要です。さらに、英語必修科目は研究科目と有機的に連動します。研究科目のなかに、英語で行われる研究科目を設けています。英語圏の学部を想定した授業ですので、専門分野を英語で研究する経験を得ることができます。